

四年間を振り返って

兵庫県立大学理学部生命科学科 松村 和香

はじめに、このような賞を頂き、まさか私という気持ち大きいです。また、とても光栄ですが、私は単位の取りやすさではなく、自分の興味や研究に必要だと思った授業を取っていたため、どのような対策をしたら良い成績がとれるのかといったお話は出来ません。そちらについては他の受賞者の方々にお任せして、私は兵庫県立大学理学部に入学して良かったことについてお話したいと思います。

兵庫県立大学理学部で過ごした四年間は、大学入学当時の私には想像出来なかつたくらい充実した日々でした。また、一生大切にしたいと思える方々に出会えた、縁にも恵まれた素敵な四年間でした。私は第一志望の大学に落ち、入学当初は何を目標に大学生生活を送っていけばよいのか分かりませんでした。それでも、苦手な数学だけはちゃんとしようと思い、授業中に分からなかった問題を先生に質問に行っていました。その時に質問に行った野村先生との出会いがあったおかげで今の私があるといっても過言ではありません。「誰かの役に立ちたい」そんな思いからずっと医師を目指していた私に「松村さんにしか出来ない誰かの役に立てる仕事があるよ」と助言してくださった野村先生にはそれ以降ずっとお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

一回生の頃はまず自分が卒業後どうなりたいかを考えながら過ごしました。そこで、私は実験が好きなのに気づきました。漠然と、この性質を活かせる職業につけたらいいなと思い、二回生にあがりました。二回生、三回生になると実験科目が増え、週三、四日の実験と毎週のレポートに追われる日々で、バイトも本格的に始めたためとても忙しかったです。でも、実験だけは絶対に手を抜かないと決めて、予習もレポートも取り組みました。寧ろ、実験に頑張り過ぎて、テスト勉強に時間がさけなかったのを覚えています。その代わりに、授業は前の席に座って、集中して受けその場で理解できれば先生に質問に行きました。ここでも素敵な友人たちがいたおかげで頑張れました。一緒に図書館で勉強したり、息抜きにカラオケに行ったり、お買い物に行ったり、お鍋パーティーをしたりしました。また、三回生の時には、研究室を選ぶために色んな研究室に見学に行き、研究テーマ等のお話をしました。城先生、樋口先生をはじめどの研究室の先生方も快くお話して下さり、その中でも、久保先生との出会いが外部進学を考えていた私を変えてくれました。元々医学部を目指していた私に、創薬に関わる研究テーマを勧めて下さり、久保先生の真摯に研究に取り組まれている姿に感銘を受け、久保先生の元で修士まで研究したいと思いました。研究室に配属されてからの実験は三回生までの実験と異なり、必ず結果が出るものでもなく、研究というものの難しさを日々感じています。ですが、将来研究職に就きたいと思っているので、手を抜かず頑張っていくと思っています。いつも納得するまで議論して下さる柳澤先生、このような研究が出来る環境を与えて下さっている久保先生にもこの場を借りてお礼申し上げます。